

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 2年 2月 25日

事業所名 まなviva

保護者等数(児童数)

回収数 31

割合

	チェック項目	評価				ご意見
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	24	6	1	0	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	23	5	1	2	
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	15	13	2	1	子供達がわかりやすいよう配慮されている。 見てないのでわかりません。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	23	5	2	1	
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	26	5	0	0	沢山イベントがあり、先生たちには本当に感謝しています。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	14	13	2	2	参加する日にはなかっただけだと思います。 フラダンスの発表会の時に沢山の高校生たちと触れ合えてうれしそうでした。
保護者 への 説明 等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	26	4	0	1	
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	26	5	0	0	
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	22	8	1	0	色々な助言に本当に助けられています。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	9	18	3	1	保護者が集まるところもあり、一部連携が取れている。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	23	7	0	1	
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	26	5	0	0	
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	22	7	1	1	普段の様子がHPで見れたら良いと思った。 特定の活動については行われているのかもしれないが、自分の子供が参加した活動については見た覚えがない。
14 個人情報に十分注意しているか	27	1	1	2	わからない。	
非常時 等	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	16	10	3	2	聞いた覚えがない。

の 対 応	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	10	16	2	3	参加する日にはなかっただけだと思います。
満 足 度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	30	1	0	0	学校への行きしぶりがあっても「デイがあるから頑張れる！」と言っています。毎回にこにこ笑顔で帰ってきているので楽しく過ごしているんだろうなと思います。
	18	事業所の支援に満足しているか	29	2	0	0	親子ともども感謝しています。本人のやりたいこと、本人に寄り添い本人を尊重してもらっていてありがとうございます。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

ご意見を踏まえた 対応
今後も人数、状況等を的確に把握し、適切なスペース確保に努める。
今後も子供の年齢等を考慮して、十分に支援ができるよう職員を配置する。
今後も子供が利用しやすい施設を目指していく。
アセスメントをしっかり行い、個別支援計画に盛り込むことを徹底する。
今後もバラエティーに富んだ活動を企画していく。
交流の機会を設けてはいるが、ご意見を踏まえるとまだまだ少ないと感じ、地域のイベントに参加するなどさらに交流の機会を設けるよう努める。
「わからない」という声もいただいたので、より丁寧かつ詳細に説明するよう心掛ける。
面談の際はもちろん、送迎の際に共有できることは共有するようにする。
より多くの適切な助言ができるよう研修等に参加し、知識を高める。
以前から親の会を月一回開催しているが、そのことを知らない保護者の方もいるかもしれないので、まず周知してもらおうことの取り組む。
苦情に迅速に対応できる環境を整えていく。
連絡帳の活用、声の物差し等情報伝達や支援上での工夫を行っている。
個人情報等の関係で、メールで活動の写真のアルバムを配信している。しかし、活動によっては、撮影できていなかったり、写真が少ないというものがあつたりすることもあるので、改善する。
社内で個人情報の管理等についても一度確認する。
マニュアル等は作成しているが、周知されている状況ではないので、面談時等で説明する。

非常災害の備えての訓練は実施したが、今後は回数を増やしていくことを検討する。

保護者の方のご意見を社内で共有し、より一層通所が楽しみと思えるような事業所づくりを目指していく。

専門的な知識の習得、研修への参加、交流会等を通してさらに質の高い支援ができるよう努める。